

ヌバキソビッド®筋注について

ヌバキソビッド®筋注はどんなワクチン？

- 不活化ワクチン※のひとつである「組換えタンパクワクチン」です。

※病原体の感染性をなくしたり、一部を取り出したり、培養細胞に作らせたものを人体に投与し、免疫をつくるワクチン。

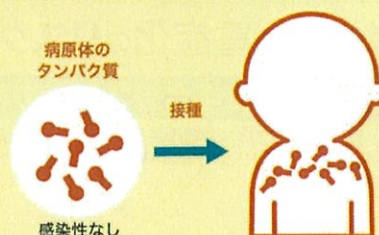
- 組換えタンパクワクチンは国内で使用されているB型肝炎ワクチンなどと同じカテゴリーです¹⁾。

詳細はこちらをご覧ください。

「武田薬品COVID-19ワクチン関連特設サイト(日本) ワクチン接種を受けた方・受ける予定のある方へ」のページへ



- 病原体の特徴的なタンパク質のみを培養細胞に作らせて製造します²⁾。



- ✓ 接種することで病原体の特徴的なタンパク質がヒトの細胞内に取り込まれ、病原体を抑える作用のある中和抗体ができたり、免疫細胞が働くことで、新型コロナウイルスによる感染症の予防ができると考えられています^{1,3)}。
- ✓ 接種しても感染を起こしたり、病原体が身体の中で増えることはありません⁴⁾。

どのような副反応があるの？^{1,5)}

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、筋肉痛、頭痛
10～50%	倦怠感、関節痛、吐き気・嘔吐
1～10%	発熱、接種部位の腫れ、発赤・紅斑、手足の痛み

(2024年3月時点)

12歳以上でみられた主な副反応は左の表のとおりです。
重大な副反応としてショック、アナフィラキシーもあらわれることがあります。

定期接種の対象者は？¹⁾



✓ 65歳以上の方 ✓ 60～64歳で対象となる方※

※心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)により免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方。

1) 厚生労働省: 新型コロナワクチンQ&A [2024年6月閲覧] https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.html

2) 長谷川秀樹: 治療. 2022;104(7):802-805 3) 齋藤紀先: 休み時間の免疫学 第3版. 講談社, 2021, p44, 64

4) 岡部信彦他: 予防接種に関するQ&A集 2023. 一般社団法人日本ワクチン産業協会, 2023, p85 5) ヌバキソビッド筋注 電子添文

新型コロナウイルス感染症は どんな病気？

- のどの痛みや咳、鼻水・鼻づまりなどに加え、
けん たい かん
倦怠感や発熱、筋肉痛などの症状が起こることが多い
- インフルエンザに似た症状のため、
症状だけでどちらかを見分けることは難しい

厚生労働省：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き第10.1版 [2024年6月閲覧] <https://www.mhlw.go.jp/content/001248424.pdf>より作成

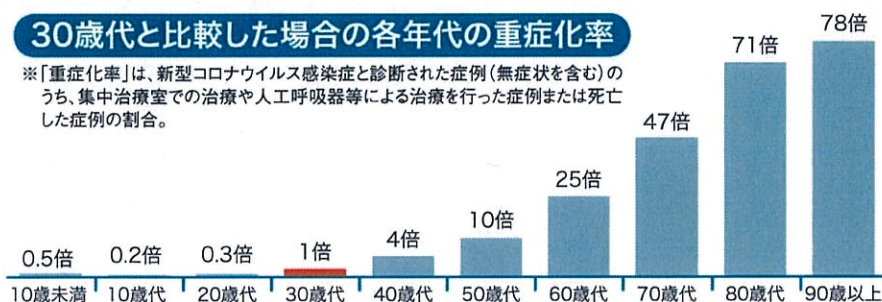


新型コロナウイルス感染症の 重症化のリスクは？

- 高齢者の方は重症化のリスクが高いと言われています

30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。



厚生労働省：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き第10.1版 [2024年6月閲覧] <https://www.mhlw.go.jp/content/001248424.pdf>より作成
厚生労働省：(2023年4月版) 新型コロナウイルス感染症の「いま」に関する11の知識 [2024年6月閲覧] <https://www.mhlw.go.jp/content/000927280.pdf>より作成

- 高齢者の方以外にも基礎疾患のある方、一部の妊娠後期の方も
重症化に注意が必要です



厚生労働省：(2023年4月版) 新型コロナウイルス感染症の「いま」に関する11の知識 [2024年6月閲覧] <https://www.mhlw.go.jp/content/000927280.pdf>より作成

新型コロナウイルス感染症の 後遺症とは？

- ほとんどの方は時間経過とともに症状が改善しますが、
一部の方で症状が長引くこと（罹患後症状、いわゆる後遺症）があります

後遺症の例

- 疲労感・倦怠感
- 関節痛
- 筋肉痛
- 咳
- 喀痰
- 息切れ
- 胸痛
- 脱毛
- 記憶障害
- 集中力低下
- 頭痛
- 抑うつ
- 嗅覚障害
- 味覚障害
- 動悸
- 下痢
- 腹痛
- 睡眠障害
- 筋力低下

WHO（世界保健機関）は罹患後症状について「新型コロナウイルスに罹患した人にみられ、少なくとも2ヵ月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明のつかないもの。通常は発病から3ヵ月経った時点にもみられる。」と定義しています。

厚生労働省：新型コロナウイルス感染症の罹患後症状（いわゆる後遺症）について [2024年6月閲覧] https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00402.htmlより作成